

この地区の胃・肺がん検診

胃がん検診



①検査予約

各医療機関で実施する時も、保健センターで行う時もまず予約をして下さい。

②検査実施



検査は早朝空腹時に行います。早朝空腹時に医療機関に来ることは少ないので、ついでにできるだけの検診を受けるのが便利です。

バリウム検査は、バリウムが体の中で固まって便秘にならないようにするのが大切です。下剤をしっかり服みましょう。X線検査は約13枚の写真をとることが決まっています。

③研究会

撮った写真はすべて、研究会に出されそこで専門家と検査実施医10名位が集まって全員で1例1例丁寧にみてゆき、異常なし、胃がんの疑いなど判定し

てゆきます。

④精密検査



異常なしとなった人はこれで終わりです。胃がんの疑いとなった人は、内視鏡検査などの精密検査を受けます。当院ではこの内視鏡検査まで行っています。

この内視鏡検査の結果も前に書いた研究会で全員の先生に見てもらいます。この様にレントゲンの結果、内視鏡の結果など参加した多数の医師の目で見落としがないよう気を付けられています。

肺がん検診



(1) 予約

肺がん検診を受ける人もまず予約して下さい。

肺がん検診を受けるだけだと10分位しかかかりません。ですから特定検診、胃がん検診などと同時に予約していただくのがおすすすめです。

(2) 検査

胸部レントゲン写真を二枚撮ります。

(3) 読影会

1ヶ月間の各医療機関の胸部レントゲン写真を全て集め、20名の医師で異常なし、肺がんの疑いなど決めてゆきます。400件位を2〜3時間かけて判定してゆきます。

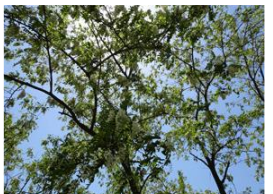


(4) 精密検査

読影会で何らかの疑いがあったもの殆どすべてを精密検査であるCT検査を行います。CT検査はいろいろな施設にありますが我々は、次の研究会との関係もあつて、大井町の渥美先生、上病院などをお願いしています。

(5) 研究会

大井町の渥美先生は読影会や研究会のメンバーであり、予約もとりにやすいので私達は殆どのCT撮影をお願いしています。



(5) 研究会

毎月1回開催しています。県立がんセンターの先生の指導のもとに読影会で問題となった症例、要CT検査になった症例などを中心に検討会を行った後、がんセンターの症例を中心に注意したいものなどを見せていただき、写真を見る目をきたえています。



写真は大口の福沢神社の祭礼のスナップです。

みなさんの質問や投稿をお待ちしております。

☆受付けからのお願い

月初めには必ず保険証を受付にお出し下さい。診察券は毎回お持ち下さい。

☆編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。

E・メールを送って下さい。norikazu@okutu.jp



5月・6月の休診日

休診 日曜・祭日
午後休診 水曜・土曜

5月28日 (土)

5月30日 (月)